



(株)中津川セラミック

SITE REPORT 2008



所在地 : 岐阜県中津川市茄子川1642番地4
 創立 : 1993年(平成5年)7月
 社長 : 佐藤 秀雄
 資本金 : 50百万円
 主要事業 : セラミックパッケージ・自動車用センサー部品製造
 従業員 : 701人(2008.8.1現在)

代表者の緒言



取締役社長 佐藤 秀雄

当社は日本特殊陶業グループの一員として、半導体関連及び自動車関連のセラミック部品を製造しております。
 グループの環境宣言・環境方針に基づき当社の環境行動計画を策定し実行していきます。
 省エネルギー・廃棄物の削減・資源の有効利用・環境負荷物質の削減管理等、様々な環境活動を社員全員で継続的に実行し、地球環境・地域社会に対しての企業責任と貢献を果たしていきます。

ISO認証状況



取得年月 : 2002年12月
 認証機関 : テュフ・ラインランド・ジャパン(株)
 登録認証番号 : 09 100 6805 / 2
 2007年10月
 フォローアップ監査

エネルギー管理士 取得状況

取締役社長 佐藤 秀雄
 第1 - 19508号 : 2007 / 2 / 28
 工務部 次長 大橋 富美男
 第1 - 14296号 : 2006 / 9 / 6
 工務部 主任 熊谷 猛司
 第9096号 : 2000 / 2 / 14
 工務部 後藤 正裕
 第7812号 : 2007 / 10 / 1

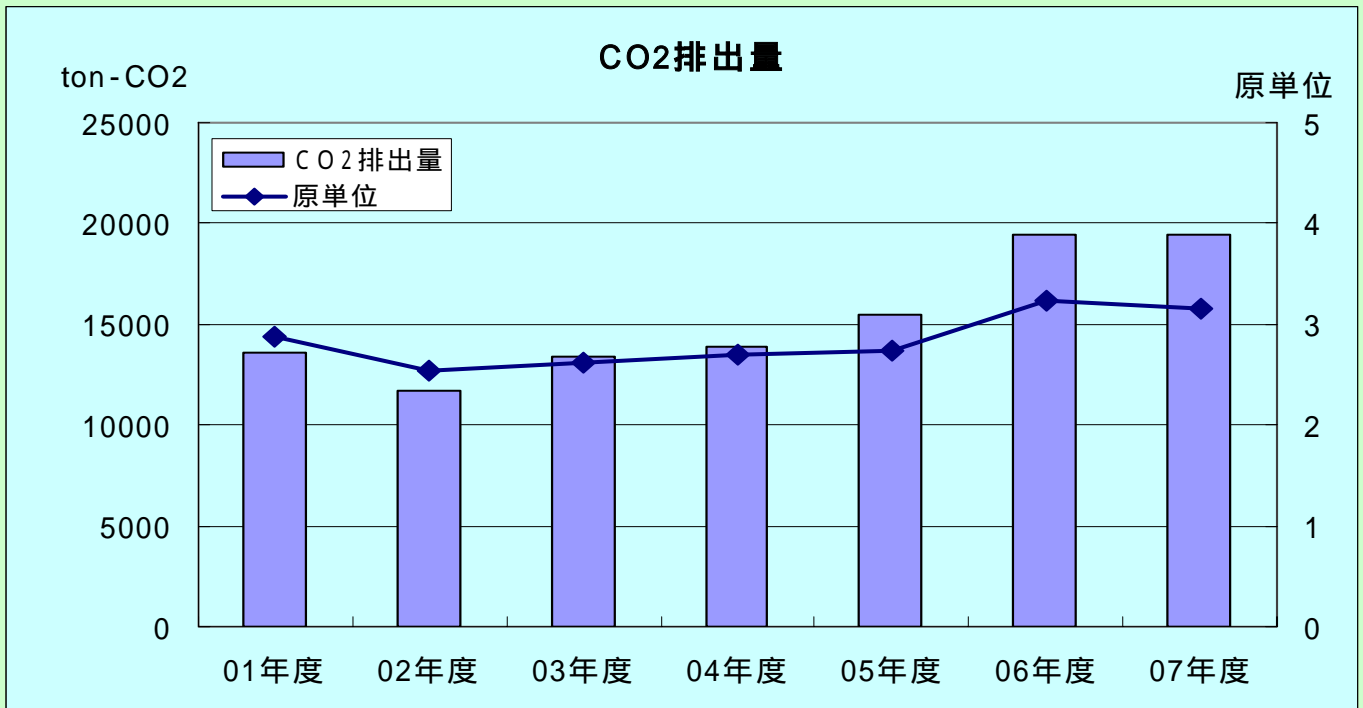
マテリアルバランス : 2007年度

エネルギー
 購入電力 3,280万KWH
 LPG 287万Kg
 ガソリン 2KL
 紙
 紙類 3トン
 その他材料・補助材料
 ガス類 989トン
 プラスチック 89トン
 化学物質 432トン
 油類 8トン
 その他 6トン
 水
 上水 61,889トン



使用エネルギー
 によるCO2排出量
 生産 19,462トン
 輸送 5トン
 PRTR法対象物質排出量
 大気 117トン
 廃棄物
 リサイクル 384トン
 埋立・焼却 2トン
 排水
 排水 61,889トン

CO2排出量推移とエネルギーの効率化：2001年4月～2008年3月



CO2の排出量は生産増により、年々増加しているが、様々な削減対策により、昨年度に比較して原単位(効率)は向上している。

環境データ：2007年4月～2008年3月

PRTR

(単位: Kg)

政令	対象化学物質名 (報告対象物質)	取扱い量	排出量			移動量		リサイクル量	除去処理量	搬出量
			大気	公共用水域	土壌	公共下水道	廃棄物			
中津川工場	63 キシレン	11,489	4,274	0	0	0	0	6,998	0	217
	64 銀及びその水溶性化合物	1,380	0	0	0	0	0	0	0	1,380
	68 クロム及び3価クロム化合物	7,416	0	0	0	0	0	3,899	0	3,517
	227 トルエン	82,685	82,043	0	0	0	0	642	0	0
	230 鉛及びその化合物	3,954	0	0	0	0	0	767	0	3,188
	270 フタル酸ジ-n-ブチル	24,874	0	0	0	0	0	11,369	10,259	3,246
	272 フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	4,390	0	0	0	0	0	3,538	237	615
	346 モリブデン及びその化合物	2,798	0	0	0	0	0	260	0	2,538

政令	対象化学物質名 (報告対象物質)	取扱い量	排出量			移動量		リサイクル量	除去処理量	搬出量
			大気	公共用水域	土壌	公共下水道	廃棄物			
武並工場	227 トルエン	37,355	31,148	0	0	0	0	6,207	0	0
	230 鉛及びその化合物	4,004	0	0	0	0	0	461	0	3,543
	270 フタル酸ジ-n-ブチル	5,311	0	0	0	0	0	1,277	0	4,034
	272 フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	2,563	0	0	0	0	0	343	0	2,220

削減対策

- ・キシレン：清掃用溶剤、代替品のテスト実施中
- ・トルエン：回収又は有効利用の導入可能な設備を検討中

環境データ：2007年4月～2008年3月

大気・騒音・排水 (各工場の複数測定個所のデータ)

	項目	種類	単位	規制値	自主基準値	平均	MAX	項目	種類	単位	規制値	自主基準値	平均	MAX		
	中津川工場	大気	ばいじん	mg/Nm ³	50	20	3		6	排水 (公共水域)	pH	-	5.8～8.6	6.2～8.6	7.40	7.90
SOx			Nm ³ /h	0	0	0	0	SS	mg/L		50	35	2.30	4.00		
騒音		朝方	dB	60	58	50.9	54	BOD	mg/L		15	13	3.20	12.00		
		昼間	dB	65	63	52.2	55	COD	mg/L		40	30	8.00	13.00		
		夕方	dB	60	58	51.4	53	n-ヘキサン抽出物	mg/L		5	4	<0.50	<0.50		
		夜間	dB	50	50	48.3	50	窒素	mg/L		10	10	3.50	7.50		
								リン	mg/L		3	2.5	0.30	1.50		
								大腸菌	個/cm ³		3000	1000	24.30	230.00		
武並工場		騒音	朝方	dB	50	50	43.8	47	排水 (公共水域)		pH	-	5.8～8.6	5.8～8.6	7.30	7.90
			昼間	dB	55	55	44.6	48			SS	mg/L	200	100	2.30	4.00
	夕方		dB	50	50	44.5	48	BOD		mg/L	160	130	10.10	14.00		
	夜間		dB	45	45	42.8	45	COD		mg/L	160	80	4.80	7.50		
								n-ヘキサン抽出物		mg/L	5	4	<0.50	<0.50		
								窒素		mg/L	120	120	1.40	2.10		
								リン		mg/L	16	16	0.04	0.07		
								大腸菌		個/cm ³	3000	2000	96.30	360.00		

主な環境目的・目標：2008年度

マネジメント	環境方針の共有化	ファクトリー/オフィス	上水使用量削減 201m ³ /年
	環境関連事故、環境苦情を発生させない		製造工程で使用している清掃用溶剤(PRTR対象物質の代替品の検討)
ファクトリー/オフィス	CO ₂ 排出量削減 610トン/年	プロダクツ	グリーン調達ガイドラインの活用を図る
	廃棄物排出量削減 12.6トン/年	コミュニケーション	地域清掃活動の継続実施：年2回以上実施 環境関連行事への参画
	廃棄物の有価化の推進		

環境目的・目標と実績：2007年度

	地区/目的・目標	具体的目標値	実績	評価
1	CO ₂ 排出量削減	排出量削減 635トン/年	実績 735トン/年	
2	廃棄物排出量削減	排出量削減 11トン/年	実績 12トン/年	
3	水資源の有効利用	上水使用量削減 740m ³ /年	実績 1148m ³ /年	
4	産廃の有効利用率の向上	ゼロエミッション 98%以上 (3ヶ月以上継続)	最小値 5月 99.3% 4月-3月 平均 99.6%	
5	その他	地域清掃活動実施 2回以上/年	中津川工場 07年9月26日 実施 08年4月2日 実施 武並工場 07年9月24日 実施 08年3月31日 実施	

主な環境取組み概要 : 2007年度

省エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・脱臭炉を廃熱回収型に更新しLPGの使用量を削減しました。 ・焼成炉上側ヒータ撤去し電力使用量を削減しました。
廃棄物のリサイクル化	<ul style="list-style-type: none"> ・排水工程より排出される無機質汚泥排出量を削減しました。
上水の使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・真空ポンプ更新により、上水使用量を削減しました。

法規制遵守状況 : 2007年度

法規制違反、罰金、訴訟の件数	0件
利害関係者からの苦情の件数	0件

地域清掃活動 : 2007年度

工場周辺の清掃			回収物重量
中津川工場	2007年9月26日	11名	1.30Kg
	2008年4月2日	23名	2.05Kg



工場周辺の清掃			回収物重量
武並工場	2007年9月24日	6名	3.25Kg
	2008年3月31日	6名	2.40Kg



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

お問い合わせ先 総務部 TEL 0573-68-5300